

栃木県支部総会開催される

例年よりも早い春の訪れを感じられるようになった、平成18年3月18日、宇都宮市の「ホテル ニューイタヤ」において、平成18年度の栃木県支部総会及び懇親会を開催いたしました。

当日の支部総会は、同窓会本部から、外科第二講座 武藤 眞 助教授を来賓にお迎えし、午後1時半から始まりました。はじめに昨年逝去された山下 幸彦（昭和31年卒）現副支部長と岸本 進（昭和27年卒）元支部長に哀悼の意を込め黙祷を捧げ、会員16名出席のもと開催されました。小野口 勝巳支部長（昭和40年卒）の挨拶に続いて、平成18年度の経過報告を行いました。本部理事会や平成18年度から関東ブロックの理事県として開催した関東ブロック支部長会議の様子などを報告しました。その後、収支予算、19年度の予算案などについて審議を行い、原案どおり承認されました。

引き続き、来賓の武藤先生から、プロジェクターを使って少子化や教育基本法の改正に伴い学校が行っている改革、その中での動物病院のあり方や現状、そして実習研究棟の建築状況など私達が在学中には考えてもいないほど様変わりしていく学校の様子を非常にわかりやすく説明をいただき、参加者からも大好評でした。

また産業動物臨床基礎実習の説明では、1年次から大動物に触れることで、専門分野だけでなく、基礎の分野を学ぶ興味や必要性の自覚が芽生える成果があったとの話があり、うらやましく思うと同時に、今後も引き続き行いより魅力ある学校にしてほしいと思いました。

総会終了後には懇親会が開かれ、矢沢 嗣夫（昭和30年卒）の乾杯の発声で始まりました。懇親会では和気あいあいの雰囲気の中に時間が流れ、昔話にも花が咲き楽しいひとときを過ごしました。また、懇親会後はお忙しい中、武藤先生にも席を変えての2次会にも参加いただき、さらに外科の講座での伝説の真相など、深いお話しを聞かせていただきました。

今回の総会は事務局の不手際で案内から実施まで時間が短かったため、せっかく武藤



先生にお越しいただき特に臨床関係の会員の参加増を図りましたが、至りませんでした。来年度は参加さらに魅力ある方法を考え、にぎやかな支部総会にしていければと思っています。

終わりに、麻布大学同窓会の今後益々の発展をお祈りいたしまして、栃木県支部総会の報告といたします。

（栃木県支部 事務局）